

第1号議案 2022年度事業報告および計算書類の承認の件

(はじめに)

この一年、入館団体の皆様や来館の方々に気持ち良く会館を利用していただくことを心掛け運営してまいりました。

事業、経営面につきましては、関係団体のご協力をいただく中で設立50周年記念レセプションを開催し、ほぼ計画通り展開することができました。また、公益事業目的(カルチャースクール)も、前年度を上回る受講生を受け入れることが出来ました。

一方で、結成から約50年が経過し、中長期視点に立った具体的な建物管理方法等の検討など新たな課題も発生しています。

この一年、皆様からいただきました栃木県労働者福祉センターに対するご便宜に深く感謝申し上げます。

以下、2022年度事業経過について報告申し上げます。

第1 事業報告

1. 会員の状況

会員数は63会員で本年度会員の変動はありませんでした。

2. 理事会開催状況

今年度理事会の開催状況は以下のとおりです。

開催日	回	主要議題
2022年 5月20日	255回	(1) 代表理事および業務執行理事の職務執行状況の報告 (2) 主な修繕・改修関係について (3) 事業報告、計算書類、公益目的支出計画実施報告書の承認について (監査報告) (4) 理事の辞任に伴う補選について (5) 第57回通常総会の運営について (6) 第57回通常総会議案書(社員総会参考書類)について (7) 50周年事業実施について (8) その他 ・カルチャースクール受講生募集状況
7月29日	256回	(1) 代表理事および業務執行理事の職務執行状況の報告 (2) 事業概況について (3) 役員退任慰労金の支給について (4) 結成50周年記念事業について (5) その他 ・センター夏祭りについて ・新第4駐車場の移転について

10月25日	257回	<ul style="list-style-type: none"> (1) 代表理事および業務執行理事の職務執行状況の報告 (2) 事業概況について (3) 職員採用について (4) 再雇用制度規則の一部改正について (5) 結成50周年記念事業について (6) その他 <ul style="list-style-type: none"> ・総合消防訓練について ・2022年度下期カルチャースクール受講生募集について
12月6日	258回	<ul style="list-style-type: none"> (1) 代表理事および業務執行理事の職務執行状況の報告 (2) 主な修繕・改修関係について (3) 事業概況について (4) 役員選考委員会の設置について (5) 第3回栃木県労働者福祉センターあり方検討委員会実施報告 (6) その他 <ul style="list-style-type: none"> ・消防計画に基づく、「防火・防災訓練(避難訓練)」の実施報告 ・下期カルチャースクール受講生募集結果について ・新年懇親会について
3月16日	259回	<ul style="list-style-type: none"> (1) 代表理事および業務執行理事の職務執行状況の報告 (2) 主な修繕・改修関係について (3) 2022年度決算見込み (4) 2023年度事業計画・収支予算案について (5) 就業規則・給与規程・給与規程規則等の見直しについて (6) 第58回通常総会について (7) 役員関連について (8) 非営利性が徹底された法人の要件に抵触する「特別の利益を与える取引」の有無について (9) その他 <ul style="list-style-type: none"> ・2023年度上期カルチャースクール募集について

3. 事業別の報告

(1) カルチャースクールの運営状況について

カルチャースクールは、公益事業に認定された事業です。講座内容・受講料が日常運営等で公共事業に相応しいものとなるよう細心の留意をしています。

現講座は、「英会話」「中国語」「書道」「ヨガ」「絵画」「絵手紙」「手話」の7講座で年2回に分け、上期は6月～11月、12～5月としています。

講師には、それぞれの分野の第一人者に依頼しています。(以下、敬称略)

◎英会話 マーク マコーマック (マコーマック イングリッシュ コーチング代表) 他

◎中国語 宮郷 礼躍 (中国出身講師)

◎書道 赤澤 豊 (臥龍会)

◎絵手紙 大和田 初子 (日本絵手紙協会公認講師)

◎絵画 松野 行 (日展準会員・日洋会監事)

◎ヨガ 杉本 沙織 (全米ヨガアライアンス公認講師)

◎手話 栃木県聴覚障害者協会

受講生数の状況は、下表のとおりです。今年度は前年度比11名増加しています。新型コロナウイルス禍の中、397名の受講生数の申込となりました。引き続き、講師と連携しながら受講生確保に取り組んでまいります。

<講座別受講生数>

	英会話	中国語	書道	絵手紙	絵画	ヨガ	手話	合計
前年度(通期)	214	18	49	19	16	41	29	386
今年度上期	120	9	22	12	7	17	15	202
〃 下期	113	8	25	11	7	17	14	195
今年度合計	233	17	47	23	14	34	29	397

(上期; 6月～11月、下期; 12月～5月)

(2) テナント事業

現在の入館団体は、下記一覧のとおりです。

① 入館団体一覧

(2023年3月末日現在)

フロア	入館団体
1階	中央労働金庫宇都宮支店 中央ろうきんサービス 福祉センター事務室
2階	中央労働金庫栃木県本部 中央労働金庫審査部(栃木) 中央労働金庫宇都宮ローンセンター
3階	日本労働組合総連合会栃木県連合会(連合栃木) 連合栃木宇河地域協議会

4階	全国一般栃木地方労働組合 栃木県平和運動センター U A ゼンセン栃木県支部
5階	全日本自治団体労働組合栃木県本部（自治労）
6階	栃木県労働者福祉協議会保険部（栃木ファミリー）
8階	栃木県労働者福祉協議会 栃木教育ネットワークユニオン
別館	日産労連北関東地域本部

② 建物・設備の主な改修等について

主な工事	概要
中央労働金庫栃木県本部空調機修理	室外機故障による修理を行った。
地下消火栓呼水槽修繕	水漏れ修理を行った。
別館ガス湯沸し器交換	故障により新しい湯沸し器を取り付けた。
自治労栃木県本部空調機修理	空調設備故障による修理を行った。
屋上消火栓水槽補修	水漏れにより、水槽の補修を行った。

③ 災害・非常時に備えて

- ア) 入館団体で福祉センター自衛消防隊を組織し、日常点検を含め防火・防災に努めています。
- イ) 消防計画に基づき、全入館団体等による避難・消火訓練を実施しました。この訓練には、戸祭作業所へも参加を呼びかけ一緒に訓練を実施しました。参加者 52 名(11 月)
- ウ) 災害等に備え、一定量の水や食料品・防災用品等の非常時物資の備蓄を行っています。

④ 環境管理・建物等の日常点検について

- ア) 定期的に水質検査、環境測定、害虫駆除等を実施し衛生面の安全確保に努めています。
- イ) 法令に基づく点検や、普段の点検により不具合・不備等への速やかな対応を行っています。

(3) 駐車場事業

当会館の駐車スペースは 170 台分で、その約 90%が入館団体の月極契約駐車場となっています。特に会館敷地内の来客用駐車スペースが少ないため、カルチャ

ースクール受講生や大きな会議がある場合には、主催者を通じ比較的余裕のある第6駐車場（近隣）の利用を案内しています。

(4) 自販機事業

ダイドードリンコの清涼飲料水自販機は、募金機能付きとなっています。（後述の「社会貢献活動」の項を参照）

(5) 土地賃貸事業

事務所・倉庫等の用地として、当法人所有の土地を賃貸しています。現在、賃貸用として所有している土地は、すべて入館団体により利用いただいています。

(6) 会議室事業

今年は、感染症対策緩和等に伴い会議室利用が回復してきています。しかし、前年同様に新型コロナウイルスの感染拡大防止から、予約していた会議室のキャンセルがありました。

今年度会議室の利用状況は次表のとおりです。

<会議室利用状況>

会議室名	2020年度	2021年度	2022年度
第一会議室（7階西）	138	195	180
第二会議室（7階東）	133	138	121
第三会議室（1階正面）	25	38	37
第四会議室（1階北）	45	71	67
談話室（8階）	65	89	77
合計	406	531	482

(注)「カルチャースクール」の利用は除く。

(7) 結成50周年記念事業

ア) 12月6日にホテルニューイタヤにおいて記念祝賀会を参加者51名で開催しました。

イ) 公益目的事業のうちの特定寄付を、輝くとちぎの人づくり推進基金100万円、いちご一会募金10万円を栃木県に寄附を行いました。

4. 社会貢献活動

(1) 自動販売機募金システム

自動販売機募金システムとは、当センターの販売手数料の一部と販売業者が負担する同額を加算して、寄付を行うものです。

1階エレベーター前に設置しているダイードリンコ(株)は、盲導犬育成募金自動販売機となっています。この自販機による今年度の寄付金は8,982円(業者負担分を含む)になりました。

(2) 周辺道路の清掃

毎月第三金曜日に入館団体の皆さんの参加協力を得て、日光街道の県体育館前から松原交差点までと福祉センター東側の道路清掃を実施しました。

(3) 子供の「かけこみお宿」

戸祭小学校の「かけこみお宿」として登録しています。ロビーや会館脇通路は、小学生の通学路となっています。

(4) 献血

福祉センターを会場に日本赤十字社の献血車による献血を行っています。今年度は、延べ25名の館内や近隣のみなさんから献血のご協力をいただきました。

(5) 電気自動車(EV)充電スタンド

当会館は、日光街道に面しており、EV充電器設置は社会的にも意味があり、については当会館利用者のサービスや利用性向上に併せ、環境への取組の一環との位置づけに基づき、社会貢献を目的に整備したものです。

電気自動車(EV)充電スタンドの利用料金

1回3時間まで100円(税込)

5. 全国会館協及び同東部ブロック会との連携について

全国労働者福祉会館協議会(全国会館協)に加盟し、同協議会および同東部ブロック会加盟団体との情報交換などを行っています。

現在、全国会館協に加盟している会員は17会館となっています。東部ブロック会は当法人をはじめ、3会館で構成しています。

6. その他

一般社団法人栃木県労働者福祉センターあり方検討委員会設置

2021年度から、当法人の今後の管理運営及び建物・設備等について答申書を取りまとめ理事会に提出することを目的に設置し、計3回協議を行いました。

<全国労働者福社会館協議会（全国会館協）加盟会館一覧>

地域	会館名	府県
北部	一般財団法人青森県労働福社会館（ハートピアローフク）	青森
	一般社団法人山形県勤労者福祉センター（大手門パルス）	山形
	一般社団法人宮城県労働福祉センター（ハーネル仙台）	宮城
東部	一般社団法人栃木県労働者福祉センター	栃木
	一般社団法人神奈川県労働福祉センター（ワークピア横浜）	神奈川
中部	一般社団法人富山県労働者福祉協会 富山県勤労者総合福祉センター（ボルファートとやま）	富山
	株式会社春日温泉観光開発（ゆ〜とりあ越中）	
	一般社団法人石川県労働者福祉協議会 石川県勤労者福祉文化会館（フレンドパーク石川）	石川
	一般社団法人福井県労働福社会館（ユニオンプラザ福井）	福井
	一般財団法人守山野州市民交流プラザ（Riseville 都賀山）	滋賀
	一般財団法人彦根勤労福社会館（たちばな）	滋賀
	公益財団法人京都労働者総合会館（ラポール京都）	京都
	一般社団法人岐阜県勤労福祉センター（ワークプラザ岐阜）	岐阜
	公益財団法人三重県労働福社会館（三重県勤労者福社会館）	三重
	一般社団法人伊勢志摩労働者福祉協議会 伊勢志摩労働者協会館（伊勢志摩レインボープラザ）	三重
	一般社団法人徳島県労働福社会館（ヒューマンわーくぴあ徳島）	徳島
	西部	一般社団法人福山労働会館（みやび）

<全国会館協東部ブロック会加盟会館>

- 一般社団法人栃木県労働者福祉センター
 - 一般財団法人埼玉県勤労者福祉センター（ときわ会館）（※）
 - 一般社団法人神奈川県労働福祉センター（ワークピア横浜）
- （※は全国会館協には加盟せず、東部ブロック会のみ加盟）

事業報告附属明細書

2022年度（令和4年度）は、「事業報告の内容を補足する重要な事項」に該当するものではありません。

第2 計算書類の承認

1. 資産・負債等の状況について（貸借対照表）

流動資産は156,580千円で、うち156,497千円は現金・預金となっています。

固定資産は244,417千円で、うち特定資産が131,641千円、土地・建物等の「その他固定資産」が112,776千円です。

特定資産のうち修繕積立資産については、新たに20,000千円を繰り入れました。その結果、修繕積立資産の残高は105,000千円となりました。また、特定資産として建設預り資産25,441千円、退職給付引当資産1,200千円を計上しています。

「その他固定資産」のうち建物等の減価償却対象資産の増減内訳は新規取得3,351千円に対して減価償却2,881千円を行い、固定資産除却損237千円を計上し「その他固定資産」が233千円増加しました。

固定負債関係の退職給付引当金、役員退任慰労金引当金は規程・規則に基づき計算した金額を計上しています。

以上の内容により、今年度末の一般正味財産残高は25,477千円増加し294,195千円となりました。

2. 正味財産増減について（正味財産増減計算書）

経常収益計は前年度比103千円増の93,174千円となりました。前年度比で、駐車場収入、共益金、授業料、雑収益等が増加し、会場使用料、維持管理収入等が減収になりました。

経常費用計は前年度比2,817千円増の67,460千円となっております。役員報酬、福利厚生費、租税公課、支払寄付金、交際費等が増加し、出向者負担金、減価償却費、修繕費、賃借料等が減少になりました。

上記の結果、当期一般正味財産増減額は前年度比2,950千円減の25,477千円となりました。

3. 貸借対照表内訳表、正味財産増減計算書内訳表について

貸借対照表内訳表は、実施事業資産を明らかにするために作成しています。

正味財産増減計算書内訳表は、実施事業等会計、その他会計、法人会計に区分して事業ごとに表記しています。

（注）実施事業とは、公益目的支出計画の対象となる事業をいいます。）

貸借対照表、正味財産増減計算書、貸借対照表内訳表、正味財産増減計算書内訳表、財務諸表に対する注記、附属明細書は次ページ以降に記載しています。